

棚田地域振興活動加算の目標設定について

紫波町 漆原

1 集落協定の概要

- ・ 協定面積：約 13ha（田 13ha）
- ・ 協定参加者：農業者 19 人、法人等 1
- ・ 平成 12 年度から中山間地域等直接支払交付金を活用
- ・ 協定農地の営農の持続を図るため、令和 2 年度に特定農業法人「里地里山ネット漆立」を設立。
- ・ 農地中間管理事業により、協定農用地の利用権を法人が一括して取得し、各構成員に作業を委託する仕組みを採用しているため、離農者が出た農地についても、別の構成員と委託契約を結ぶことで営農を継続することができている。
- ・ 令和 4 年度からは、棚田地域振興活動加算を活用し棚田の保全や棚田を核とした地域振興に取り組んでいる。

2 棚田地域振興活動加算の目標・活動内容

項目	目標	数値目標		費用
		現状	目標	
①棚田等の保全	防除用ドローン 1 台を導入し、共同で行う防除面積を 30%に増加させる（生産性向上）	(現状)R3：0%	(目標)R6：30%	139 万円(生産性向上加算 R3 39 万円+棚田加算 100 万円)
②棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮	令和 6 年度までに、ネズミ・モグラによる法面の浸食防止と美化を兼ねて、彼岸花の球根を棚田の法面に定植する（自然環境の保全・活用）	(現状)R3：0ha	(目標)R6：8ha	90 万円
③棚田を核とした棚田地域の振興	産直の販売額を増加させる（関係人口の創出・拡大） ・ 棚田を活用したイベント（彼岸花開花期、収穫期、棚田巡りコース開通時など）による誘客 ・ 棚田巡りコースの整備による自転車レンタル料 等	(現状)R3： 3,890 万円	(目標)R6：+5%	200 万円

3 令和 4 年度の活動状況

(1) 棚田等の保全

共同防除用ドローンは、令和 5 年度購入予定のため、令和 4 年度は、防除箇所や防除機器の選定、オペレータの選定・育成を実施する。

(2) 棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮

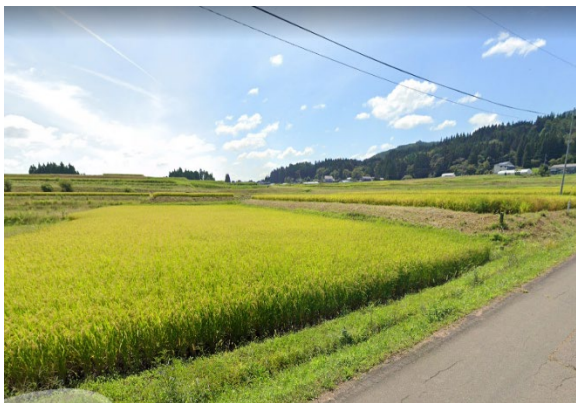
令和 4 年 9 月 4 日、棚田の法面に彼岸花の球根を 3 ha 定植。令和 5 年度に 3 ha、令和 6 年度に 2 ha を定植予定。

(3) 棚田を核とした棚田地域の振興

棚田巡りコースの目玉である片寄城跡への通路と駐車場を整備。



「片寄三千石の里」事業概要 兼 棚田巡りマップ



志和棚田



あぐり志和産直組合



片寄城跡入口



黄金堂